

～ 西条市役所 危機管理課からのお知らせ ～

1 自主防災組織について

(1) 組織結成について

地域住民が自主的な合意により協力し合い、災害に備え活動を行う組織です。地域に「自主防災組織」はありますか？組織がない地域は、結成に向けて地域で話し合ってみてはどうでしょうか。

なお、新しい組織が結成されると、市の「自主防災組織防災資機材貸与事業」が受けられ、集会所等の自治会活動拠点に「防災工具セット等」が設置されます。



(2) 組織の活動について

活動内容は主に平常時と災害時の2つに分かれます。地域住民が連携して助け合うことが重要で、自主防災組織ができていれば被害軽減の可能性があります。そのためにも日頃の地域コミュニティ(交流)がカギとなります。

① 平常時の主な活動

- ・地域住民への防災知識の普及・啓発
- ・防災訓練
- ・地域の安全点検(災害危険箇所の把握)
- ・火気使用設備器具等の点検 等



② 災害時の主な活動

- ・情報の収集及び伝達
- ・救出、救護、避難
- ・出火防止、初期消火
- ・避難誘導
- ・給食、給水 等

2 災害時要援護者の支援体制の整備について

災害時に自力では適切な行動がとりにくい災害時要援護者(高齢者、傷病者、身体障害者、乳幼児、外国人等)は、地域住民の力を必要としています。日頃の交流を深め、地域の要援護者の所在確認等を行い、共助できる支援体制が求められています。

3 災害時の避難について

(1) 市が配布した「西条市防災マップ」でお住まいの地域等を確認してください。

(2) 市や防災関係機関が発表する避難勧告等の情報に注意してください。



(問合せ先) 西条市役所 危機管理課
〒793-8601 西条市明屋敷164番地
TEL0897-56-5151 FAX0897-52-1200

～地域ぐるみで共助できるしくみをつくりましょう～

西条市社会福祉協議会の住所、連絡先

西条市社会福祉協議会は、西条市東予総合福祉センターに本所を置き、旧市町単位に4支所を配置しています。地域福祉事業や在宅介護事業をととして福祉のまちづくりを進めていますので福祉の問題などお気軽にご相談ください。執務時

本所/東予支所

〒799-1371 西条市周布606-1
西条市東予総合福祉センター内
TEL0898-64-2600 FAX0898-64-3920



丹原支所

〒791-0508 西条市丹原町池田1733-1
西条市丹原福祉センター内



小松支所

〒799-1101 西条市小松町新屋敷乙48-1
西条市小松地域福祉センター内

ふれ愛シネマ

資料No.3

社会福祉法人 西条市社会福祉協議会

ふれ愛シネマ

市民の皆様が懐かしの映画の視聴をとおして楽しく交流することで地域コミュニティの醸成を図り「ふれあいあふれる福祉のまちづくり」を進めることを目的とするものです。

「ふれ愛シネマ」事業は、赤い羽根共同募金の配分金によって実施しています。

災害(地震や水害等)が発生したとき、

マグニチュード8クラスの東南海・南海地震が30年以内に発生する確率は50～60%との説もあるように、いつ地震が発生してもおかしくありません。

また、毎年やってくる台風や集中豪雨による水害(堤防決壊、浸水被害、河川氾濫、土砂崩れ等)は私たちに甚大な被害を及ぼすこともあります。

地震に備え、日常生活で私たちは何をすべきでしょうか。

突然やってくる災害にどう対応すべきでしょうか。



平成19年新潟県中越沖地震より

地震 その時の10のポイント

地震時の行動

1. グラツきたら、身の安全

地震の時は、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。



地震直後の行動

2. 落ち着いて、火の元確認、初期消火

あわてず、火の始末をする。ただし、天井まで炎が達したら、一刻も早く避難しましょう。

3. あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片等に注意しましょう。

4. 窓や戸を開け 出口を確保

地震により出入り口のドアが機能しない場合もあります。避難できるよう出口を確保しましょう。

5. 落下物 あわてて外に飛び出さない

瓦・窓ガラス・看板等が落ちてくる場合もあるので、注意しましょう。

6. 門や塀には近寄らない

揺れを感じたら、タンス、冷蔵庫、ブロック塀、自動販売機等には近寄らないようにしましょう。

地震後の行動

7. 正しい情報 確かな行動

ラジオ・テレビ、消防署や行政等から正しい情報を得ましょう。

8. 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認しましょう。

9. 協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具等の下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護しましょう。



避難する際の留意事項



家族や隣近所でまとまって避難する

誰がどこに避難しているか把握できるようにしましょう。

持ち物は最小限にする

両手が使えるような状態で避難しましょう。

徒歩で避難する

車の場合は、ロックせず窓を開けて避難しましょう。

肌を露出しない

肌を露出しない服装で避難しましょう。

避難する際の持ち出し品

命を守るのが第一ですので、避難する際に必需品全てを持ち出す必要はありません。

避難時に備え、非常時持ち出し品はサイズ・重量・使用期限等を考慮し、避難時に支障のないようコンパクトにまとめておくのが重要です。

①命に関わる備蓄品

のこぎり、パール、ジャッキ、ロープ、懐中電灯、笛(救助を求める)等

②ないと困る持ち出し品

タオル、ヘルメット、ラジオ、薬、衣料、通帳、印鑑、非常食、等

③避難後、ゆっくり持ち出すもの

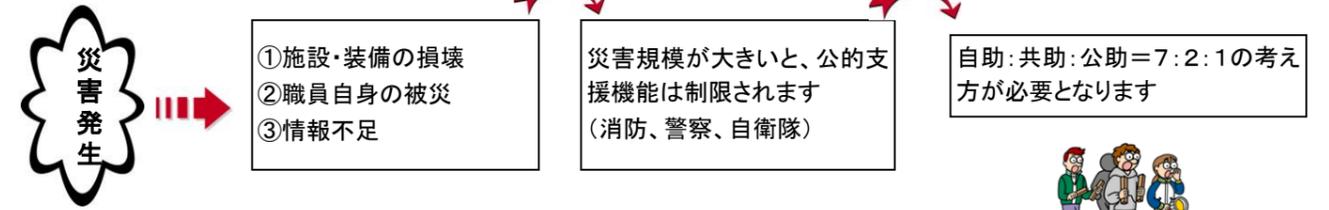
その他生活必需品



身近にできる防災対策

なぜ、「自助」「共助」が大切か

災害発生直後は、公的機関は助けたくても助けられない状況になる可能性が高く、命は自分自身や地域の人々で



家族での防災会議

①寝室の家具等の配置確認

・家具類は転倒・落下してきませんか？

②避難経路、避難場所の確認

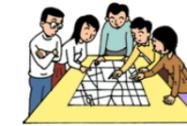
・ドアが変形し、脱出できない場合もあります

③家族の連絡方法・集合場所の確認

・離れ離れになった場合どうしますか？
(災害用伝言ダイヤル171の利用)
(遠方の親戚を連絡中継所にする等)

④非常品持ち出しの準備

・1日に必要な水は、3ℓ/1人が目安となります



家周辺の安全確認

①門柱、塀の安全点検

・鉄筋で補強できていますか？
・敷地側に控壁をつけていますか？
・ひび割れ、傾きはないですか？

②燃えやすい物は、周囲には置かない

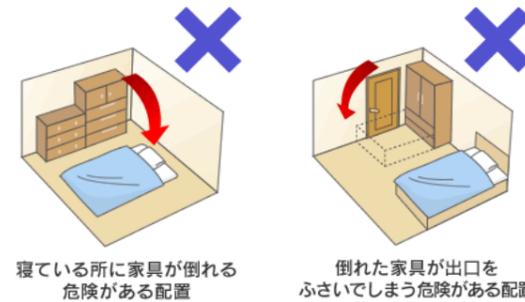
・避難経路に障害物はないですか？

③落下物の確認

・ベランダの植木鉢等は落ちてきませんか？

家具の移動・転倒防止対策

たんす等の重い家具の下敷きで窒息死するおそれがあり、また、散乱した食器等がケガを誘発したり、避難行動を阻害しま



家具類が倒れてきてもケガをせずに、寝室から脱出しやすい家具の配置・

様々な家具固定用品がありますが、基本となる家具固定方法は次のとおりです。ホームセンター等で、L字型金具、連結用金具(1個100~300円程度)、電動ねじ回し等を購入し、一家総出で家具固定を進め、防災対策してみてもいいでしょう。なお、本棚や食器棚には「飛び出し防止措置」を行うと共に、重いものを下に、軽いものを上に置いて重心を低くするのが基本です。

